



／ こんにちは ／

No.128
令和7年5月

豊前市議会 です



尾澤議員 議場での辞職のあいさつ

CONTENTS 目次

2月定例会(2/10～3/4) 主な内容

議案の概要	2～3P
令和7年2月定例会議案審議結果など	4～5P
一般質問・その他	6～12P
トピックス・編集後記	13～14P

／ 議会へのご意見をお寄せください ／

発行 /

豊前市議会 (豊前市大字吉木955)

TEL 82-8137 (直通)

ホームページ /

[https://www.city.](https://www.city.buzen.lg.jp)

[buzen.lg.jp](https://www.city.buzen.lg.jp)



議案の概要

第1回定例会

令和7年第1回定例会は、2月10日から3月4日までの23日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より、条例案件10件、補正予算6件、当初予算9件、その他案件6件の合計31件が提出されました。

それぞれ所管の委員会慎重に審査した結果、原案どおり可決されました。なお、議案第1号・第15号・第22号・第23号・第24号については反対討論がありました。

最終日には、議案第18号に関して修正案提出の動議があり、賛成・反対討論がなされ、採決を行った結果、修正案は否決され、議案第18号は、原案どおり可決されました。



《令和6年度一般会計補正予算の概要》

「令和6年度一般会計補正予算(第9号)(第10号)(第11号)」の審査を行いました。各常任委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第17号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第9号)

国庫補助事業及び県補助事業に係る経費について、可決しました。

《主な事業》

◇低所得世帯支援給付金事業	138,458千円
◇保育所等物価高騰対策費補助金	646千円
◇学校給食費助成金(小・中学校)	83,607千円

【議案第18号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第10号)

国庫補助事業及び県補助事業に係る経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇ふるさと納税受付等業務委託料	110,000千円
◇障害者福祉費(扶助費)	41,000千円
◇児童措置費(扶助費)	42,000千円
◇ほ場整備事業	4,106千円
◇施設整備費等補助金	40,000千円
◇学校施設整備基金積立金	397,824千円

【議案第31号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第11号)

県議会議員選挙に係る経費について、可決しました。

◇県議会議員選挙費	4,673千円
-----------	---------

【議案第18号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第10号)の修正案は否決

総合交流促進施設(ト仙の郷)に対する、施設整備費等補助金40,000千円を0円に削減する修正動議が、内丸議員・秋成議員より提出されましたが、賛成少数で否決となりました。

(修正理由)

指定管理者と締結した協定書では、指定管理者が自己の責任で設置したものについて、買取りその他の義務の明記がなく、また、各種管理経費について、10年間遡及して支払うことについても、公金を支出する根拠が乏しいため。

【修正案に対する賛成討論】

◎この補正分については、執行部より協定書や条例、法的根拠等により予算を計上したという納得のいく説明が必要である。現時点では補正予算の計上を見送り、執行部がしっかりと根拠を示すことができるようになってから、判断する必要があると思う。

【修正案に対する反対討論】

◎これまでト仙の郷の経営は自主努力で運営しており、各種管理経費はこれまで支払われておらず、今回の補正額については各指定管理との整合性が保たれている。

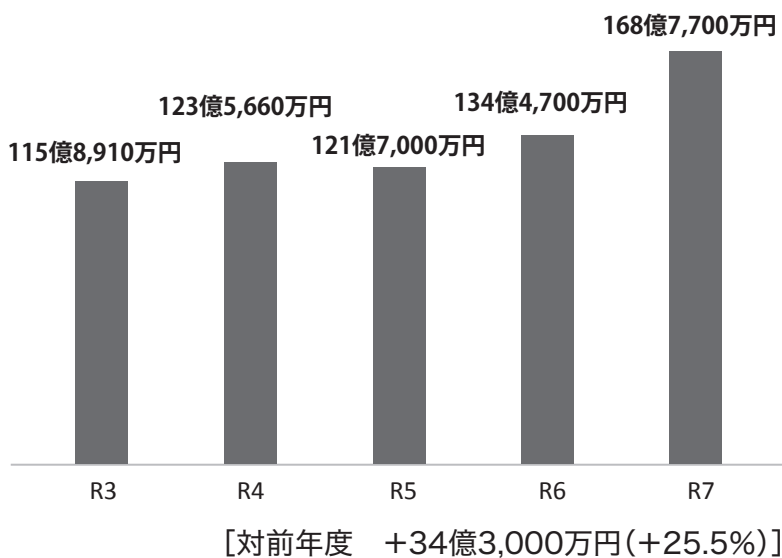
令和7年度 一般会計予算

今年度は市長選挙のため
骨格予算※1で成立!!

総額168億7,700万円

2月定例会では、予算特別委員会が設置され、「令和7年度一般会計当初予算」について審査を行いました。委員会は、2月27日～28日の2日間にわたり開催し、慎重審査を行いました。委員会では予算の細部にわたり執行部に対して多くの質問や指摘がなされました。

一般会計当初予算額の推移



《主な要因》

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 投資的経費(学校再編成事業費等の増) | 25億8,082万円 |
| 2. 物件費(電算管理費等の増) | 4億4,850万円 |
| 3. 扶助費(児童措置費等の増) | 1億8,661万円 |

予算審査に関わる 予算特別委員会が設置 されました。

メンバーは以下のとおりです

委員長	平田 精一
副委員長	爪丸 雄太
委員	増田 泰造
委員	梅丸 晃
委員	為藤 直美
委員	内丸 伸一
委員	尾澤 満治

※1 骨格予算とは：市長選挙の関係から政策的な判断ができにくい等の理由により、政策的経費の予算計上を避け、人件費等の必要最小限の経費を計上する予算のこと

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

- | | |
|---------|--|
| 総務委員会 | ◎内丸伸一○増田泰造・爪丸雄太・渡辺美智子・村上勝二・為藤直美・郡司掛八千代 |
| 文教厚生委員会 | ◎梅丸晃○為藤直美・爪丸雄太・渡辺美智子・増田泰造・平田精一・岡本清靖 |
| 産業建設委員会 | ◎尾澤満治○梅丸晃・爪丸雄太・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・福井昌文 |
| 議会運営委員会 | ◎為藤直美○尾澤満治・渡辺美智子・梅丸晃・村上勝二・内丸伸一 |

常任委員会で慎重審査し申し入れをしました

産業建設委員会申し入れ事項

- ◎現在、締結している各指定管理者との協定書等については、見直しを行うこと。また、施設の現状を変更する場合は、その都度、協議を行い、不備のないようにすること。
- ◎市と各指定管理者間の協定内容については、公平性を担保すること。

文教厚生委員会申し入れ事項

- ◎豊前市子ども・子育て支援事業計画については、内容に沿って確実に実行すること。また、補助金等の活用を視野に入れ、国の施策等を注視すること。

総務委員会申し入れ事項

- ◎豊前市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3期)については、PDCAサイクルで検証を行い、具体的施策と目標に向かって取り組むこと。
- ◎各種計画策定については、男女共同参画の観点から、多種多様な意見を取り入れられるよう、委員の人選に配慮すること。
- ◎消防団に関しては、団員の活動実績を把握し、適切に対応すること。

令和7年2月定例会 議案審議結果

「○」… 賛成

「●」… 反対

「議長」… 議長職のため表決に参加しない

「除斥」… 議案に直接関係があるため表決に参加できない

議案番号	議案等の名称	審議結果	爪丸雄太	渡辺美智子	増田泰造	梅丸晃	村上勝二	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	平田精一	福井昌文	岡本清靖	尾澤満治	賛成	反対
議案第1号	豊前市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び豊前市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第2号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第3号	豊前市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第4号	豊前市職員退職手当支給条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第5号	豊前市税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第6号	豊前市子ども・子育て会議条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第7号	豊前市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第8号	豊前市し尿処理施設解体基金条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第9号	豊前市土地開発基金条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第10号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0

議案 番号	議 案 等 の 名 称	審議 結果	爪 丸 雄太	渡 辺 美 智 子	増 田 泰 造	梅 丸 晃	村 上 勝 二	為 藤 直 美	内 丸 伸 一	秋 成 英 人	郡 司 掛 八 千 代	平 田 精 一	福 井 昌 文	岡 本 清 靖	尾 澤 満 治	賛 成	反 対
議 案 第11号	指定管理者の指定について（豊前市まちなか交流センター）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第12号	指定管理者の指定について（総合交流促進施設）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第13号	指定管理者の指定について（豊前市立図書館）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第14号	市道路線の認定について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第15号	豊前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）の策定につ いて	原案 可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議 案 第16号	豊前市子ども・子育て支援事業計画（第3期）の策定につ いて	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第17号	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第9号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第18号 修正案	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第10号）に対する修 正案	否決	●	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	議長	●	4	8
議 案 第18号	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第10号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	議長	○	10	2
議 案 第19号	令和6年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4 号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第20号	令和6年度豊前市営駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第21号	令和6年度豊前市バス事業特別会計補正予算（第1号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第22号	令和7年度豊前市一般会計予算	原案 可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議 案 第23号	令和7年度豊前市国民健康保険事業特別会計予算	原案 可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議 案 第24号	令和7年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案 可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議 案 第25号	令和7年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第26号	令和7年度豊前市営駐車場事業特別会計予算	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第27号	令和7年度豊前市バス事業特別会計予算	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第28号	令和7年度豊前市水道事業会計予算	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第29号	令和7年度豊前市公共下水道事業会計予算	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第30号	令和7年度豊前市東部地区工業用水道事業会計予算	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議 案 第31号	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第11号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
	尾澤満治議員の辞職の件について	許可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	除 斥	11	0



議長
岡本 清靖



副議長
福井 昌文

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問

(増田泰造議員)

- ① 武道教育
- ② 避難所指定の学校体育館の空調設置
- ③ 学校再編に伴うスクールバスの運用
- ④ 带状疱疹ワクチン定期接種開始



(郡司掛八千代議員)

- ① 男女共同参画
- ② オルタナティブスクール、フリースクール



(渡辺美智子議員)

- ① 第3セクター
- ② 児童福祉、高齢者福祉の充実
- ③ 豊前市の観光行政
- ④ 豊前市の財政状況
- ⑤ ふるさと納税・企業版ふるさと納税



(為藤直美議員)

- ① 豊前市バスの現状と今後の計画
- ② 健康寿命延伸に向けた取り組み



(梅丸晃議員)

ICT教育の推進

- ① 児童・生徒のICT活用
- ② 教職員のICT活用指導力向上
- ③ 教職員の働き方改革とChromebookの活用
- ④ 国際交流におけるICT活用



(爪丸雄太議員)

- ① ウェルビーイングによる自然・健康・地域活性化



(村上勝二議員)

- ① 健康保険証廃止にともなう現状
- ② 豊前市の上下水道事業
- ③ 新年の市長あいさつと市財源



(尾澤満治議員)

- ① 豊前市の展望



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

武道教育について



増田 泰造

を学びながら、資質・能力の育成を目指している。

増田議員 先月、豊前市の剣道の初稽古に参加した。昨年と比較して小中学生の参加者が激減している現実を目の当たりにし、将来、豊前市から剣道の文化がなくなるのではないかと大変危惧している。少子化などにより、剣道や他の道場も存続に頭を抱えていると思う。そこで、子どもたちに武道という文化を知ってもらうため、中学校教育に武道が加わった経緯と目的を質問する。

学校教育課長 武道が中学校の保健体育科に導入された経緯については、平成24年度の学習指導要領の改訂によるものである。この背景には、日本の伝統文化の継承と発展、体力・運動能力の向上、道徳心や礼儀の育成等があり、武道の特性や成り立ち、礼に代表される伝統的な考え方を

学校教育課長 現在、中学1・2年生は、剣道を履修している。3年生は、球技及び武道から一つ選択しており、角田中学校・合岩中学校が剣道を履修している。各学校の保健体育の教員による指導となっている。

増田議員 中津市が監修した書籍「マンガ・中津市郷土の偉人シリーズ」の一つが、幕末の剣豪、島田虎之助である。虎之助は、「剣は心なり。心正しからざれば剣また正しからず。剣を学ばんと欲すれば先ず心より学べし。」と剣心一致を説いている。年間の武道教育の中に、武道に関わる

人物を教材にした講義形式の授業を導入してはどうか。教育長に伺う。

教育長 いま、男女を問わず武道教育を学習しているが、それは伝統文化に触れることはもちろん、武道を通して相手を尊重する態度や、礼を大切にすることが育成される面が大きいからだと思う。議員が言われるように、心の面をお話しいただける方がいれば教育活動でお話を聞くことがあってもいいと思う。ご紹介いただければ学校と相談したい。

増田議員 市長、いかがか。

市長 武道教育は日本人として大切なことだと思う。日本の伝統的な武道というものが、どれだけ人間力を高めるか、教育にとって必要な知識を学ぶだけではない教育があると思う。

増田議員 ぜひ検討をお願いする。



男女共同参画について



郡司掛 八千代

郡司掛議員 豊前市では、男女共同参画の推進を主要政策として位置付け、平成22年4月に「豊前市男女共同参画推進条例」を施行した。令和6年度版内閣府男女共同参画白書では、仕事と健康の両立が特集され、男女双方の健康課題への理解と支援体制の充実が求められている。市における男性職員の育児休業期間、産後、パパ育児の取得数、今後の支援計画について、お聞きする。

総務課長 近年、男性の育児参加の機会が増えている。豊前市職員においても、出産補助として出産日や退院日には休暇制度があり、男性対象者全員が取得している。育児休業の取得も令和2年以降増加傾向にあり、令和5年度は対象者5人全員が取得、平均取得日数は15.2日であった。

産後パパ育児については、令和6年度に1人が取得した。今後は、職員間の協力体制を取りながら、男女問わず子育てと仕事、健康を両立できる職場環境の整備を進める必要があると考える。

郡司掛議員 産後、パパ育児の取得数が少ないのは、妻が実家で静養する慣例があるためと理解している。しかし、今後は異なるケースも増えるため、支援から外せないと思う。また1カ月以上の育児取得者には育児レポートを提出してもらい、次に取得する職員のためのマニュアル作りに活用し、取得しやすい環境を作ってほしい。そこで、男女共同参画とは何か、担当課長、室長にお聞きする。

総務課長 総務課としては、人事を担う立場から女性の登用が課題と考えている。今後、家庭や地域の役割分担を含め、女性がリーダーとして活躍する機会が増えることを期待する。

人権男女共同参画室長

市では「第2次豊前市男女共同参画行動計画」に基づき、県主催のフォーラム視聴会場の設置やセミナー・講演会・映画上映会等を通じて、男女が互いを認め合い、豊かな生活を送れる環境づくりに取り組んでいる。特に若い世代への啓発として、児童・生徒の作文募集を通じて意識を深め、個々を認め合う価値観の形成を図っている。今後も幅広い世代に向けた取り組みを実施し、「男女がともに輝くまち・ぶぜん」の実現に努める。

郡司掛議員 これからも取り組みを上げながら努力していただくよう、お願いする。



豊前市の財政状況について



渡辺 美智子

渡辺議員 私は学校再編について15年ほど前から提案をしている。前回提出された建設費用は95億円。これに設計料や付帯設備等を含むと100億円は下らない。現在年間に生まれる子供の人数は、150人から一昨年は80人、昨年は70人台で半分以下の人数に落ち込んでいる。学校再編建設費、国の補助金はごく僅か、残りは市民の税金で賄うが、今まで見直しの機会は一度もなかったのか。

教育長 それぞれの時期に通学審議会等も開かれ、見直しの議論はしてきた。その中で中学校を統合すべきとなったが、それが白紙に戻されたりした経緯があると認識している。

渡辺議員 この見直しの是非に関しては、コンサルへの疑問、私はまだ議員で

はなかったが、議会にも学

校再編特別委員会などを設置し視察など足を運び研究すべきだったのではないかと。当時の議長を筆頭に議員は何をどうチェックしていたのか。議会の怠慢だ、などと厳しいお叱りの声が届いている。今後は我々議員も今まで以上にしっかりと注視する必要がある。また、市報「市長の部屋」に、市内には本庁舎の他に95施設があり、これらの建物を維持管理していくと、今後40年で約609億、年間15億円の改修更新費用が掛かる見込み。とても払える経費ではありません、と記載がある。国は、特別施設計画を立てたところに財政支援を始めたというが、それから数年が経過している。今後40年は、学校再編の起債返済もあるが、現在の進捗状況はどうか。

財務課長 特別施設計画というのは、豊前市の公共施設等総合管理計画のことで理解する。これについては現在更新に向け進めてい

るが、なかなか更新できていない状況である。国が示す軽微な変更等は行っている。

渡辺議員 しっかりと進めて欲しい。豊前市の財政状況改善の為、執行部、我々議員が多くの情報を共有し、歳入の確保、そして歳出の削減に知恵を絞っていかねければならない。豊前市が生きるか死ぬかの大プロジェクトである。過去、「うみてらす豊前」では最終的に建設費が約4倍の3億2千万円に膨れ上がっている。今後も物価上昇、働き方改革、人材不足、想定外のことが起こる。建設が始まればお金がないからといってストップをかけるわけにはいかない。学校再編後に豊前市の子供たちが笑顔いっぱい幸せであり、さらには赤字再建団体に陥ること無く、明るく健全であるように私も尽力していく。



豊前市バスの現状と今後の計画について



為藤 直美

為藤議員 市民から「バス停が遠い」「利用したことがない」「時間が合わない」などの声を聞き、市バスの運用は毎年厳しい状況である。これまでの市バス利用者の推移と平成14年度の運行開始以降の路線、運行ダイヤの見直しについて伺う。

交通政策室長 平成14年度の一般利用者は11万4000人であったが、令和5年度は5万1800人となり、約55%減少している。民間路線廃止に伴う三毛門方面への路線延長や市民の要望を取り入れ、全便宇島駅へ乗り入れるなどの見直しを行ってきた。必要に応じ運行ダイヤも見直してきたが、全国的に地域公共交通の利用者は減少しており、今後新たな移動手段の確保が必要と考える。

為藤議員 現在、実施中の

デジタル田園都市国家構想交付金の概要、今後の豊前市の地域公共交通の目指す方向性を伺う。

交通政策室長 今年度は地域公共交通デザイン策定の中で、公共交通に関する市民アンケートなどの各種調査、分析を行っている。また、住民参加のワークショップも開催し、多くの意見、提案もいただいた。今後は各種調査結果に基づいた報告書、交通デザイン等も示されるので、これらをもとに全地域公共交通計画の策定や試験運用等を行いながら、地域の特性や利用者ニーズに対応した持続可能な地域公共交通の再編に努めたい。

為藤議員 この事業は、今後の地域交通を変える大きな事業だと思う。以前も言ったが、小郡市の自治会バスの活用事例について、担当課と共に説明を聞いたが、地域の方が移動を支援する公共のライドシェアについてどう思っているか。

交通政策室長 地域において継続的に運転手を確保

することが、一番の課題と
思っている。地域の実情や市民ニーズを踏まえ、十分に協議、連携する必要がある
と考える。

為藤議員 公共交通手段である市バスの今後の方向性、またライドシェアを含めた様々な活用について、市長の考えを伺う。

市長 買い物弱者や交通弱者の方が、高齢化により増えていくのが現状である。市バスなど公助だけでなく、互助の仕組みとして、ライドシェアを取り入れたらどうかというのが、将来構想の一つにあると思う。保険、運転手への対価等を整理し、地域でお互いに支え合う仕組みができることが理想である。スクールバスも、どのように活用していくのか、地域の知恵を借りながら頑張りたい。

為藤議員 地域の大切な交通手段であるので、地域と連携し、利便性のある仕組みづくりを進めていただ
くようお願いする。

ICT教育の推進について



梅丸 晃

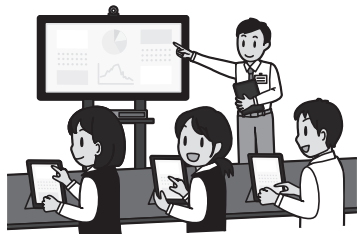
梅丸議員 学校再編に向けて、現在は設計・建設といったハード面が進んでいるが、ICT教育を含めたソフト面の充実こそが、豊前市の子どもたちに明るい未来を提供する教育環境になると考える。学校は立派になったが、中身は何も変わらないと言われな

つけ考え判断する学力観へと変わっている。その中で、ICT機器は重要な学びのツールで、GIGAスクールにおいてもICT教育の推進は必要不可欠である。これまで各学校はICTの活用に取り組んでおり、中学校の英語では、AIアプリを活用したスピーキングとヒアリングを学ぶことができる。しかし、教員の世代間格差が大きく、ICTの活用

に抵抗が少なくない先生は、理解も早く積極的に使おうとするが、そうではない先生もいるため、ICT活用の価値や活用方法などをしっかりと学ぶ研修を進めていきたい。また、学校再編に向けて今後3年間は、子どもたちが混乱なく新しい学校生活をスタートできるように、不登校を増やさないことを含めた授業の取り組みを基本に据えて、指示をしているところである。またICTの活用についても、乗り遅れることがないよう指導していきたい。議員ご指摘のGEG・BUSENという素晴らしいスキルを持った方々がいるので、専門的な知見をお借りすることも検討し、ICT教育の推進に取り組んでいきたい。

梅丸議員 再編に向けて、デリケートな時期に入る。小学校同士の小小交流等が開催されているが、ICT教育においても格差がないよう、平行して進めてい

ただきたい。ICT教育の推進は、本市の児童・生徒の未来を左右する重要な課題である。児童・生徒の吸収力をいかし、現場の教職員がICT教育や校務DXを推進するには、教育委員会がこの現状に危機感を持ち、どのような方針を定め、環境整備を進めていくかが求められる。教育委員会には、積極的な取り組みと、持続可能なICT教育の体制構築を強く要望する。



ウェルビーイングによる自然・健康・地域活性化について



爪丸 雄太

爪丸議員 ウェルビーイングとは、身体的、精神的及び社会的に心が良い状態であることをさす。インターネットでは、植物が人の身体的な痛みや不安、疲労を軽減するとの情報があり、自然は何らかのかたちで健康にポジティブな影響をもたらすと考えられている。豊前市には森林セラピーがあるが、その取り組みについて伺いたい。

爪丸議員 豊前市の面積の約6割が森林だと聞いているが、この森林を有効に活用し、森林セラピー基地豊前として設定されていることは、大変素晴らしいと思う。参加者にアンケートは取っているか。また取っているのであれば、主な感想をお聞きます。

市長 ストレス社会の中にあって、私たちのふるさどが持つ自然の力が健康増進に及ぼす影響について、いま再認識をされてきたという思いがある。我々の持つこの自然の恵を、多くの人に知っていただくため、まず市役所職員が知ることだという提言なので、提言を生かしながら、しっかりと地域づくりにつなげていく。そんな取り組みをやっているのかねばと思っている。

爪丸議員 検証の結果と同じように、効果があるよう

爪丸議員 森林セラピーを通して、多くの方々の幸福度が向上することを願っている。



豊前市の上下水道事業について



村上 勝二

村上議員 自分が取ったアンケートでは、国保税と並んで水道料金を下げてほしいという声が強かった。豊前市の水道料金は、県内でも4番目に高い。水の安全保障戦略機構の発表によると、2046年度までに96%の事業体で値上げが予想されるとの厳しい予測がある。また、水道料金の値上げ率は、全体平均で48%になると推計されているが、豊前市は、この予測に入っているか。

産業建設部長 予測の中に入っているかは明確にお答えできないが、水道料金は独立採算制の原則にのっとって運営されており、利用者の方の料金で賄うという制度のため、少子高齢化等の背景がある中で、収益を確保するために料金の値上げも考えなければならぬと思う。

完了していたのは、14.6%にとどまるが、豊前市での状況はいかがか。

産業建設部長 現在、一番老朽化が進んでいる浄化センターの管理棟の更新から手を付けている。

村上議員 福岡県水道広域化推進プランの中で、北九州地域に入る豊前市の将来の状況がわかれば教えていただきたい。

上下水道課長 令和5年3月に福岡県水道広域化推進プランが策定され、シミュレーションにより、水道料金徴収業務の共同実施などで、一定の費用削減効果が認められている。今後、も広域化に向けて取り組んでいく予定である。

村上議員 豊前市の上下水道について、市長に伺う。

市長 命の水を供給する体制、水道料金は大きな課題である。人口減少の中で、市民が安心できる施策を行うことが行政の仕事である。周りの動きも見ながら、大きな負担が生じないように努めていきたい。

豊前市の展望について



尾澤 満治

尾澤議員 現在の広域行政は、どのようなものがあるのか、伺います。

総合政策課長 具体的には、ごみ・し尿は、豊前市外二町清掃施設組合、消防は、京築広域市町村圏事務組合、水道は、京築地区水道企業団、中学校は、吉富町外二市中学校組合などの一部事務組合の他、中津市を中心とする九州周防灘地域定住自立圏や北九州市を中心とする連携中核都市圏、北九州都市圏などの取組がある。

尾澤議員 広域行政の趣旨は、弱い部分を補い合い、負担を減らすことだと思ふ。だが、最近では方向性がバラバラになっている部分があるため、しっかりと見直すべきではないかと思う。そこでお伺いする。

尾澤議員 広域行政の趣旨は、弱い部分を補い合い、負担を減らすことだと思ふ。だが、最近では方向性がバラバラになっている部分があるため、しっかりと見直すべきではないかと思う。そこでお伺いする。

議会をつくり、その中に消防委員会、水道委員会、清掃組合委員会というかたちでつくりかえることはできないのか。

総合政策課長 その構想については、県全体の取組に関わる部分が多いと思うので、県と調整を図りながら進めていく必要があると考えている。

尾澤議員 今は本当に時間もない中で調整するというのは難しい。消防議会は、事務が1人しかいないので、無理なところが結構ある。そこをしっかりとした組合をつくっていただき、その中の職員で議論をすれば、より良い組合議会ができるのではないかと。例えば、首長たちが忙しくて、1日で組合議会が全部やるというかたちであれば、時間も調整ができるのではないかと。財政が厳しい中であり、しっかりとしたそういう組合議会ができないのか、もう1回お伺いする。

総務部長 ご指摘については、十分理解しているが、広域連携にはそれぞれの経緯や理由があり、この問題は事務方だけでできるものではなく、各首長が議論したり、あるいは県が主導して整理・調整されるべきものと考えている。ただし、機会があれば、事務方同士で意見交換をしていくことは重要であると考えている。

尾澤議員 前向きに検討していただければありがたい。これからの時代は、考え方を換え、これまでの良いところは残し、新しいものを受け入れる時代だと言われている。豊前市の舵取りを担うのは市長であり、市長を中心に執行部の皆さんが一丸となり、市民が幸せになる方向へと導いていただくことをお願いする。



一般質問

そこが聞きたい
なんとかしたい

『新世清友会』の一般質問



平田 精一



福井 昌文



内丸 伸一



秋成 英人

(内丸伸一議員)

① 防災

② 市民の安全安心

(秋成英人議員)

③ 学校再編及び財政情勢



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご閲覧ください。

市民の安全安心について

内丸議員 全国的に人口減少が問題となっており、豊前市もこのままで大丈夫か、心配している市民も多いと思う。若い人に豊前に住んでもらい、子育てをしてもらうには、近隣市町と同等の助成金整備が必要である。市長はサービス合戦をしたくないとのことだが、このままでは子育て世代が流出する。既に遅れ気味だが、助成金の新設や条件緩和、増額が必要だと思う。いかがか。

総合政策課長 市としても結婚から出産、子育て、教育まで連動性のある施策を行い、定住促進や人口減少対策に関わる取組を強化することが必要だと認識している。新婚家庭向け家賃助成制度についても見直しが必要と考えているが、財源確保が必要であり、事業の改廃を含め、定住促進につながる取組を検討したい。

廃、そういったものややって取り組んでいきたいという話だが、一向に進まない。豊前市の人口を増やそうと思ったら、ぜひ、新婚家庭や子育て世代に支援を手厚くし、豊前市を選んでもらえるよう、しっかりと取り組んでいただきたい。魅力的な教育も大事だが、その教育を受ける人がいなければならぬ。子育て世代が選んでくれるような施策をお願いしたいが、市長、いかがか。

市長 サービス合戦ではなく、子育てしやすい環境づくり、受け皿づくりが、人気があるというふうに言われている。少し苦労してでも子育てしがいのあるまち、そういう考え方も大事ではないか。財政的に豊かなくとも競争をし、将来、子どもたちに大きな負担を残さないよう、やっているところである。

なる。そういう悪循環になるので、予算を見直し、お金をかけるところにはしっかりとけることも大事だと思う。学校の件もあるが、子育てと学校教育について、教育長、いかがか。

教育長 子育てと教育は、つながった魅力づくりの方向性だと思っている。日本全体から考えると、人口が減っていくのは目に見えており、これに少しでも歯止めをかけることが、大切である。子育てとつながって学校の魅力を発信し、人口減少に歯止めをかけ、豊前市に子どもたちを呼び込むことが大事ではないかと考えている。

内丸議員 まず、新婚家庭が豊前市に住んでももらえるような、豊前市に家を建てるような施策を、しっかりと全庁を挙げて取り組んでいただきたい。



学校再編及び財政情勢について

秋成議員 最初に申し上げておくが、自分は学校再編に賛成の立場である。現在の小中学校14校をこのまま存続するのは困難であり、学校再編が必要であることは、理解できる。ただし問題は、校舎の建築費用だけで当初の約66億円から約95億円に跳ね上がり、校舎以外にも公共施設の改修や建て替えも控えている中、教育のソフト面にかかる予算確保ができるのか、市の財政が耐えられるか、そこが心配する点である。以前の答弁では、起債の年間返済予定額は令和6年度と同程度となり大丈夫とのことだった。しかし、施設の老朽化、人口減少による歳入減、さらなる物価・人件費の高騰による歳出増加があるかもしれないが、長期的に見て大丈夫なのか。

総務部長 施設管理計画では、大規模改修等が予定されているが、メンテナンスを行うことで大規模改修につながらないよう管理を行う。行財政改革推進プ

ランのつとり、市税の徴収率向上等により歳入確保に努め、歳出についても、工夫をしながら削減、抑制に努めていく。

秋成議員 自分の思いは、一貫して子どもたちの教育の中身の充実に予算確保と投資をしてほしいというものである。しかし、予算は限られているので、一番大事なソフト面、つまり教育の中身にお金がかかるというところを心配している。魅力ある学校づくりとは、教育の中身の充実であると思っているが、その点で私と教育長で何か考えにずれがあるか。

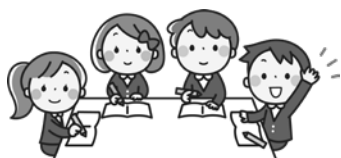
教育長 一番大事にしているのは、もちろん教育の中身であることは、当然である。

秋成議員 議会と執行部は、常により良い方向を求めて議論し、その内容を磨き上げる。特に今回の件は、そういった姿勢が大事だと考えるが、市長の考えをお聞きする。

市長 地域の将来を担う

子どもたちを、どう育成・教育していくのか。そのためには、最善・最良の教育環境を子どもたち、地域に提供していく、これが一番大きな仕事だろうと思う。豊前市の財政にとっても歴史にとつても、百年に一度と言える大事業である。当然、両輪である議会、市民、執行部が足並みを揃えることが大切である。我々も柔軟に皆さんの意見を賜りながら、いい方向に持っていく。これが、我々の目指すところである。子どもたちのため、皆さんの力をお貸しいただきたい。

秋成議員 執行部は、答弁した内容に責任を持って財政運営を行い、豊前市の未来ある子どもたちにとって一番重要である教育の中身をしっかりと充実させるため、必要な予算の確保をしていただきたい。



議会運営委員会の視察研修



玉名市役所の研修の様子

令和7年1月29～30日の日程で視察研修を行いました。熊本地震震災ミュージアムKIOKUでは、説明員から熊本地震について説明を受け施設の見学を行いました。

また、玉名市役所では、議会BCP、議会運営、市議会の意見交換会について説明を受け、質疑を行いました。先進自治体の状況を知ることができ、有意義な研修となりました。

※BCPとは… Business Continuity Plan
(事業継続計画)の略称

九州周防灘地域議会連携協議会



ZigZagホールでの協議会の様子

令和7年1月21日に、「九州周防灘地域議会連携協議会」が豊前市で開催され、各市町の正・副議長が出席しました。座長は、開催市である豊前市議会の岡本議長が務め、議事の進行を行いました。

これまで議題となっていた「東九州新幹線の整備・実現に向けて」の進捗状況や、今後の取組について協議し、その後、研修会を行いました。

この協議会を通して、5市5町の共通課題の解決、地域の発展のため、更に連携を深めていきたいと思います。

『応援とチャンレンジの連鎖がまちを変える ～活躍人口を増やす秘訣とは?～』研修会を開催!!

「九州周防灘地域議会連携協議会」終了後には、(株)ホーホウ 木藤 亮太氏を講師に迎え、研修会を開催しました。

木藤氏は、豊前市が観光まちづくり協会・企業等と共同で取り組んできた「ハレノヒ」実現プロジェクトのリーダーとして関わっておられます。

研修会では、これまで手掛けられた商店街再生、定住・移住促進等について紹介され、地域資源の磨き上げを行い、魅力のあるまちづくりを目指す取組など、今後のまちづくりのヒントを頂くことができました。

九州周防灘地域議会連携協議会…中津市・宇佐市・豊後高田市・行橋市・豊前市
吉富町・上毛町・築上町・みやこ町・苅田町

尾澤議員が令和7年3月5日付で辞職



尾澤議員は、平成16年に初当選以来、6期20年11ヵ月にわたり市議会議員として活躍されました。市議会議長・副議長や議会運営委員会委員長などの要職を歴任し、円滑な議会運営・議会改革を図ってこられました。

さらに、京築広域市町村圏事務組合議長、豊前市外二町清掃施設組合議長、京築地区水道企業団等の議員を務め、京築や豊前築上の広域行政に対しても真摯に取り組み、市政発展に尽力されました。

市議会議員補欠選挙の結果

議員の辞職に伴い、欠員が生じたため、豊前市議会議員補欠選挙(被選挙数1)が3月16日に告示され、無投票で当選が決まりました。

当選 宇都宮 正博

(任期:令和7年3月24日から令和10年4月9日まで)

議案の修正ってなに?

市長から議会に、議案(条例の制定・改廃、予算を定めることなど)の提出があった場合、本会議および常任委員会等で審査し、議決を行います。

議案の内容に対し、議員は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

編集後記

市民の皆様、こんにちは!いかがお過ごしでしょうか? 新緑の季節になりました。遠く豊前アルプスを臨めば、右から、求菩提山～犬ヶ岳～経読岳～雁股山～太平山～と連なっており、その姿を見るのが、毎日の楽しみの一つになりました。

犬ヶ岳のツクシシャクナゲは、国の天然記念物に指定されており、豊前市の花でもあります。また、その花が咲く頃に、家族と登山したことを思い出します。

この豊かな自然と人を、公僕として護ってまいります。最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

増田 泰造

次回の定例市議会は
6月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。みなさんの傍聴をお待ちしています。また、本会議については、インターネット中継をしております。

- 編集 編集委員会
委員長: 梅丸晃
副委員長: 渡辺美智子
委員: 爪丸雄太 増田泰造
村上勝二

- 印刷 築上印刷有限会社